

教育委員会提出議案

第5号議案

豊島区学習環境整備計画の策定について上記の議案を提出する。

令和7年2月6日

豊島区教育委員会教育長 金子 智 雄

豊島区学習環境整備計画の策定について

別紙（案）のとおり、豊島区学習環境整備計画を策定する。

（説 明）

豊島区学習環境整備計画（案）について、教育委員会の意見を聴取するため、本案を提出する。

豊島区学習環境整備計画(案)

豊島区教育委員会

1. 背景・目的等

(1)背景

○令和6年度現在、改築済の学校は10校であり、改築中の千川中学校も加えると、学校改築の状況は下表のとおりである。

改築済の学校	10校	千登世橋中学校、南池袋小学校、明豊中学校、西池袋中学校、目白小学校、池袋本町小学校、池袋中学校、池袋第三小学校、巣鴨北中学校、池袋第一小学校
改築中の学校	1校	千川中学校（令和10年度予定）
改築計画のある学校	5校	駒込中学校（令和15年度予定）、 朋有小学校、西巣鴨中学校（令和16年度予定）、 駒込小学校（令和20年度予定）、仰高小学校（令和25年度予定）
改築が未定の学校	14校	巣鴨小学校、清和小学校、西巣鴨小学校、豊成小学校、朝日小学校、池袋小学校、高南小学校、長崎小学校、要小学校、椎名町小学校、富士見台小学校、千早小学校、高松小学校、さくら小学校

※（）は改築校舎の竣工予定年度

(2)目的

- 改築が未定である14校について、改築時期を迎えるまでの間の学習環境の向上を目的とし、新たに「豊島区学習環境整備計画」を策定する。
- 計画期間は「基本計画」とあわせ、令和7年度から令和11年度までの5年間とする。令和12年度以降の計画は今後検討する。
- 教育大綱に示した「子どもと教員を支え、学びと成長を実感できる、新しい時代に適応した学校づくり」について、学校改築と並行し、本計画により進めていく。

(3)学習環境について

- 学習環境とは、児童・生徒が時代のニーズに即した教育課程に基づく教育活動を展開するとともに、放課後の時程も含め、安全・安心に学校の生活を送ることができる環境であり、本計画においては、専ら施設・設備面における学習環境について取り扱う。
- 本計画では、こうした施設・設備面における対応について、改修による対応に加え、修繕や備品購入などの対応についても対象とすることで、様々な側面から学習環境の向上を図るものとする。

2. 未改築校における現状と課題

(1)これまでの取り組み

○計画的な老朽化対策に加え、以下の例に示すような学習環境向上を目的とした取り組みを実施してきた。

例1 ICT環境の充実

- ・教室に電子黒板（短焦点プロジェクター）がない小中学校には、可動式の大型掲示装置（モニター）を導入している。
- ・全児童・生徒にタブレット端末を配付している。

例2 冷暖房設備の整備

- ・全ての小中学校の教室及び体育館に冷暖房設備を整備している。
- ・体育館については令和元年度に集中的に整備を実施した。

例3 トイレの洋式化

- ・平成28年度以降、トイレの改修を順次行い、令和5年度末時点で、全ての小中学校において校舎内のトイレを洋式化した。

(2)各校へのアンケート調査

○令和6年11月から12月にかけて区内の各小中学校に対してアンケート調査等を実施したところ、さらなる学習環境の向上を求める意見が多く寄せられた。複数校から寄せられた意見は以下のとおり。

I C T環境	・デジタル教科書への対応なども考慮して、電子黒板機能の整備が必要。
プール環境	・屋外で屋根がないため日影がなく、水泳授業中非常に暑い。
図書室環境	・図書室の配置やレイアウトなどに課題があり使用しにくい。
教室環境	・エアコンの効きが悪い教室等がある。 ・ランドセルロッカー（収納棚）などの大型備品が使用しにくい。
校庭環境	・改修から時間が経過しており、表層の劣化や水はけなどに課題がある。 ・運動競技用のラインも使いにくい。

(3)未改築校における学習環境の課題とその解決に向けた実施方針

(2) で記載したアンケート調査結果も踏まえ、学習環境を大きく 6 つの区分に分類し、各区分における課題とその解決に向けた実施方針を取りまとめた。

区分	学習環境の課題（改築校と未改築校との差異）		課題解決に向けた実施方針
	改築校	未改築校	
I C T環境	電子黒板（短焦点プロジェクター）が設置されている。	電子黒板（短焦点プロジェクター）の代わりに可動式の大型掲示装置（モニター）を設置しているが、画像を映すのみであり、電子黒板としての機能がない。	【電子黒板機能の整備】 - 可動式の大型掲示装置（モニター）にタッチパネル式の専用器具を付加することにより、電子黒板と同等の機能を全校に導入する。 - 現在、可動式の大型掲示装置（モニター）を設置している学校を対象に、令和 8 年度までに整備し、グループ学習や児童・生徒による発表等をより効果的に実施できるようにすることで、学習の質の更なる向上を図る。
プール環境	可動式屋根が整備されている。	屋外プールが多く、プールに日影が無く、非常に暑い。	【日除け設備の整備】 - プール桶部分も蔽えるような日除け設備を全校に導入する。 - 屋外プールの学校を対象に、令和 9 年度までに整備し、熱中症対策を図りながら、安全かつ快適な水泳指導を行う。
図書室（学習情報センター）環境	I C Tを活用し、調べ学習やグループ学習等による効果的な学習が可能な学習情報センターが整備されている。	- プロジェクターやスクリーンなどの I C T機能が整備されていない学校が多い。 - 学習情報センターとして活用するために必要な面積が確保されていない学校がある。	【学習情報センター機能の整備】 - プロジェクターやスクリーンなどの I C T機能を付加し、学習情報センターとしての機能を計画的に整備する。 - 図書室の面積が狭小な学校については、他の教室との配置転換も含めた改修を優先的に検討し、学習スペースや書架設置スペースを確保する。

区分	学習環境の課題（改築校と未改築校との差異）	
	改築校	未改築校
教室環境	- 断熱性能が高いため、空調効率が良い。また、全熱交換器などの換気設備が整備されている。 - 特別教室等の設備や備品などの機能が充実している。 - 現在の学習内容や学校からの要望を踏まえた収納備品が設置されている。	- 開口部などの断熱性能が改築校に比べて劣っており、空調の効きが悪い部屋がある。また、全熱交換器が普通教室になく、換気扇がない教室もある。 - 特別教室等の設備や備品などの機能が低下している。 - 収納機能が全体的に不足しており、教室の収納スペース確保に課題がある。 - 教育センター内の不登校の子どもの居場所について、照明が暗く、内装が無機質なため、安心・快適に過ごすための環境に課題がある。
校庭環境	遊具や舗装の安全性が高く、雨水排水設備なども整っている。	計画的に改修をしているが、改修から時間が経っている施設は機能が低下して使いにくい場合がある。また、雨水排水の状況にも課題がある。
子どもスキップ環境	あらかじめ子どもスキップの必要面積、動線やレイアウトなどを考慮して整備している。	- 学童クラブの登録児童数の増加に伴い、面積の狭小が課題となっている。 - コアスペースやセカンドスペースからサードスペースが離れているなど、動線やレイアウトに課題がある。

課題解決に向けた実施方針
【空調設備等の対策】 - 老朽化等により機能が低下した空調の改修を順次実施し、空調効率を高めていく。令和7年度は5校、令和8年度は2校の空調改修を予定しており、その後も空調機器の状況を踏まえ、計画的な更新を行う。 - 令和7年度に空調改修が予定されていない学校については、空調の効きが悪い諸室を精査した上で、個別対応を実施する。 - 換気設備の設置や断熱性能の向上を目的とした必要な対策は、足場を設置する改修の際に実施する。 【特別教室等の改修】 - 理科室や家庭科室などの特別教室については、学校ごとの各教室の設備の状況を精査した上で、設備の更新とそれに伴う内装のリニューアルを検討する。 - 備品等については、学校からの要望を踏まえ個別対応を検討する。 - 不登校の子どもの居場所について、入室しやすく居心地のよい空間とするため、壁や床などのリニューアルや照明改修などを検討する。 【収納機能の整備】 - ランドセルロッカーなどの収納に課題がある学校については、吊り下げフックの増設や小～中規模な収納備品設置など、補助的な収納機能の整備を検討する。
【校庭改修】 学校ごとの校庭の状況を踏まえつつ、機能の劣化や低下が確認された学校については早期の改修を検討し、表層部分に加え、雨水排水設備なども含めた校庭の各種機能を更新する。
【子どもスキップの利便性の向上】 - 教室改修や別棟整備により諸室のレイアウトを変更する際、子どもスキップの配置転換や改修も併せて検討し、必要面積の確保、動線やレイアウトの改善を図る。 - 学校敷地外の子どもスキップについては、普通教室の増への対応による施設改修等の機会にあわせて、学校敷地内へのスペース確保などについて検討する。

3. 整備計画

- 各校へのアンケート調査結果等を踏まえ、計画期間において、デジタル教科書などに効果的に対応できる「電子黒板機能の整備」、夏季高温化の影響緩和を踏まえた「プールの日除け設備設置」、調べ学習、グループ学習、発表などにより授業内容を深めることができる「図書室の学習情報センター化」に重点的に取り組む。
- 上記のほか、教室における空調設備など、学習環境の向上に資する改修等についても、実施計画の中で年度ごとに進捗管理を行いながら、計画的に実施する。
- 収納機能の強化など大型備品の購入や修繕等による教室環境の向上についても、年度ごとに対応していく。

区分	整備内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考
I C T環境	電子黒板機能の整備	整備(9校) 巣鴨小、西巣鴨小、朝日小、池袋小、高南小、長崎小、要小、椎名町小、さくら小	整備(5校) 清和小、豊成小、富士見台小、千早小、高松小				
プール環境	日除け設備の設置	整備(3校) 要小、千早小、さくら小	整備(4校) 西巣鴨小、朝日小、富士見台小、高松小	整備(3校) 清和小、長崎小、椎名町小			・豊成小は屋内プールにつき対象外 ・巣鴨小、池袋小、高南小は令和6年度中に整備
図書室（学習情報センター）環境	学習情報センター化	整備(1校) 高南小	図書室が狭小な巣鴨小や要小については、他の教室との配置転換を含めた改修を検討				<図書室改修実績> 清和小：令和6年度 豊成小：令和元年度 富士見台小：令和3年度 高松小：令和3年度

整備内容	令和7年度	令和8年度	令和9年度	令和10年度	令和11年度	備考
空調改修・断熱改修等	<u>改修(5校)</u> 朝日小、池袋小、長崎小、千早小、椎名町小	<u>改修(2校)</u> 清和小、高松小	空調改修(高南小)			< 空調改修実績 > 巢鴨小：令和5年度 西巢鴨小：令和6年度 豊成小：令和4年度 要小：令和3年度 富士見台小：令和6年度 さくら小：令和元年度
	足場を設置する改修の際に、換気設備の設置や断熱改修を実施					
	空調の効きが悪い教室等については、個別対応を実施					
教室等改修	<u>改修(1校)</u> 高南小 (図工室、普通教室)	<u>改修(4校)</u> 巢鴨小 (音楽室) 朝日小 (学習室・給食室) 高南小 (音楽室・家庭科室) 千早小 (家庭科室・図工室)	各教室の設備の状況を踏まえて改修を検討			
	<u>設計(4校)</u> 巢鴨小 (音楽室) 朝日小 (学習室・給食室) 高南小 (音楽室・家庭科室) 千早小 (家庭科室・図工室)					
全面改修	<u>改修(1校)</u> 富士見台小	<u>改修(1校)</u> 豊成小	校庭の状況等を踏まえて改修を検討			< 校庭改修実績 > 清和小：令和2年度 西巢鴨小：令和3年度 池袋小：令和5年度 高南小：令和5年度 椎名町小：令和4年度 高松小：令和元年度
	<u>設計(1校)</u> 豊成小					
配置転換や施設の改修		区民ひろば清和第二 退去後のスペースを 子どもスキップ清和で活用	教室改修等の機会にあわせて、子どもスキップの改修を検討			